

地震一口メモ No. 191

緊急地震速報を活用して身を守るために

来月6/17の緊急地震速報の訓練にご参加ください！

来月の6月17日に緊急地震速報の訓練が実施されます。緊急地震速報は、地震の発生直後に各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。皆さんも緊急地震速報が発表された際の音を聞いた経験はあると思います。実際に聞いた際には突然の音に驚いて、何をすれば良いかわからず茫然としてしまったことがある方もいらっしゃるのではないでしょうか。訓練をすることで、そのような突然の事態の場合もとっさの対応ができるようになります。

緊急地震速報を聞いたときの基本は地震の揺れから身を守るために「あわてず、まず身の安全を守る」ことです。具体的には周囲の状況に応じて下図のような対応をとってください。また、この機会を利用して日頃からの備えも確認してみてください。まず、寝室や居間など室内のよくいるところに“物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない”スペースを作っておきましょう。また、携帯電話をお持ちの方は緊急地震速報が発表された際に鳴る設定になっているか等ご確認ください。

過去の例として、2011年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）では、気象庁が緊急地震速報を発表してから、宮城県栗原市（震度7を観測）で実際に揺れの強い部分を感じるまで、15秒ほどありました。緊急地震速報を活用して限られた時間で身を守るために、この機会に訓練に参加し、備えを改めて見直してみたいはいかがでしょうか。

訓練の詳細・方法は以下をご参照下さい（独自で訓練する方法もあります）：

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる

エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる

屋外(街)では

- スロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

自動車運転中は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす

※左記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従って下さい。

突然の地震の際にとっさの行動ができるように訓練をしましょう！



左図：リーフレット「緊急地震速報」（気象庁発行）より